

# なるほど! 世界大恐竜展

プレデタートラップ(肉食恐竜の罠)?

一つの発掘現場から多数の肉食恐竜化石が一緒に見つかる場合、この用語が使われることがある。アメリカのユタ州にある発掘現場からは40頭を超す大型肉食恐竜「アロサウルス」が見つかったが、集積原因はこの「肉食恐竜の罠」が考えられている。

でも、なぜ「罠」なの? 手がかりは地層にある。この発掘現場の化石を含む地層は河川の堆積物なのだが、常に水が流れている流路ではなく、その周りの湿地帯でできたことを示していた。

ずぶずぶの沼地を恐竜が

歩けば、足を泥にとられて死ぬ個体も出ただろう。犠牲者

の死肉臭が漂えば、それにつられて次々と肉食恐竜が来ただろう。その肉食恐竜も足をとられて次々と死んだだろう。こうして「ミイラとりがミイラになる」連鎖の結果、世界でもまれに見る大型肉食恐竜の巨大墓場ができたのである。

大量の化石発見により、アロサウルスは全身の骨格がともよくわかってきている恐竜の一つになったのだが、今回の大恐竜展会場に展示されている素晴らしい骨格の背景にある、アロサウルスの災難に思いをはせていただきたい。

(石垣・岡山理科大教授)

|| 随時掲載

## ② アロサウルスの災難

### 湿地帯が肉食恐竜の罠に



ジュラ紀最大の捕食者だったアロサウルス(左)。ステゴサウルス(右)などを襲ったが、尾のトゲで反撃を食らった「災難」の痕が残る化石も見つかっている

「よみがえる地球の覇者! 世界大恐竜展」(山陽新聞社など主催)は9月1日まで岡山市北区駅元町、岡山シネイミュージウムで開催。7月29日、8月5日、19日休館。